



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

慶應義塾大学 広島通信三田会報

みやじま

第64号

2023年 3月

慶應義塾大学 広島通信三田会

ロシアのウクライナ侵攻から1年が過ぎました。

NATO 条約国やアメリカ・日本など民主主義国の支援により、大国ロシアとの戦いは、事実上自由主義国対独裁専制主義国との闘いとなり、長期化・泥沼化の予感がします。また東に目を向けると、米中の台湾問題や気球問題等ことごとく対立しており、北朝鮮の軍事力強化等、日本の近くでも戦争の火種が燻っています。

ウクライナ住民が寒さの中、ミサイルに怯えている情景をテレビで見て、戦争の怖さを覚えます。これは映画ではなく、現実に行っていることです。日本にとって、ウクライナは決して「対岸の火事ではない」ことを肝に銘じ、平和の有難さを改めて感じます。

こうした世界情勢下、来る5月19日～21日、世界の平和と安定を左右する先進7ヶ国の首脳が被爆地広島に集結、『G7広島サミット』が行われます。世界が注目するこの会議を、地元県民として、塾員として、どう思うか、何を期待するか、を特集にしてみました。

【目次】 p. 1

[塾情報]

- ・令和5年度総会案内 p. 2
- ・令和4年度慶応義塾卒業式状況報告 p. 2
- ・広島慶友会定期総会をオンラインで開催 p. 5
- ・2022年度 広島慶友倶楽部総会・講演会 対面で開催 p. 5

[特集]

- ・先進7ヶ国首脳会議（G7）に期待する 大門 清（1969年法学部卒） p. 6
- ・「戦争の早期終結を」 檜原 宏明（2016年文学部卒） p. 7
- ・「G7広島サミット」へよせて 河村 保（1977年経済学部卒） p. 7
- ・先進7ヶ国首脳会議（G7）に期待する 新田 政丸（1958年経済学部卒） p. 9
- ・先進7ヶ国首脳会議 瀬戸田 誠（1989年経済学部卒） p.10
- ・先進7ヶ国首脳会議（G7）に期待する 迫田 勲（1968年法学部卒） p.11
- ・妄想・超弾丸広島散歩ツアー！ 小林 節子（2005年経済学部卒） p.12

[特別寄稿]

- ・G7広島サミットに寄せて 大道 秀則（広島慶応倶楽部） p.13
- ・SDGsを実践する広島の路面電車 大瀧由美子（塾生・広島慶友会長） p.14

[会員コーナー]

- ・私の近況 檜原宏明君、新曲発表 裏表紙

[編集後記] 裏表紙

令和5年度総会案内

2023年3月末時点で、会員の皆さまへ封書にてご案内を送付しております。ご確認の上、ご都合よろしければ、ぜひご参加くださいませ。またハガキの返信もよろしくお願いいたします。

※※※ 要点抜粋版 ※※※

令和5年度広島通信三田会総会開催について

記

日時：令和5年4月22日（土）11：30～13：30

会場：加賀屋広島店 電話（082）－212－0066

広島市中区基町6－27 そごう広島本店10階レストランフロア

総会：議題

1. 令和4年度、活動概況報告、会計報告、監査報告
2. 令和5年度、活動計画案
3. 役員改選
4. その他
 - ・ 檜原宏明君の作詞、作曲、歌手デビュー発表

会費： （※ 当日会場でお支払いください）

- ・ 広島通信三田会 年会費（2000円）
- ・ 令和5年度総会 食事代（4000円）

出欠：ご案内送付に同封した返信ハガキを**4月17日(月)必着**で投函下さい。

（料理の注文のため、4月17日(月)必着でお願いします）

締切後変更の場合、迫田の携帯に4月19日(水)までにお知らせ下さい。

以上

（迫田 記）

【速報！】令和4年度慶応義塾卒業式状況報告

去る2023年3月23日（木）、日吉記念館にて、2022年度大学学部卒業式が行われました。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者は卒業生と一部の関係者に限られ、式典の様子はインターネットで配信されました。また、本年も二部制で開催され、午前の部は経済学部、医学部、理工学部、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、薬学部（※通信教育課程学生を含む）、午後の部は文学部、法学部、商学部（※通信教育課程学生を含む）の卒業生が参加しました。

<動画配信について>

URL：【午前の部】<https://youtu.be/5DH9h6oVAs8> 【午後の部】<https://youtu.be/NKN32qSI3yo>



今年は、残念ながら少し肌寒い小雨の降る、日吉新記念館での卒業式になりました！

やっとコロナ禍も収束に向かいつつありますが、今年は未だ卒業式立て看板（記念撮影用）もなく、混雑を避ける形での卒業式となりました。私は、知人の卒業生が『ユニコン賞』受賞が決まり、所属していた『フランス語研究会』の懇親会に仲間入り致しました！ 幸い日吉の桜も満開。この雨で散る運命になりました！ 日吉記念館周辺では、至る所で記念写真の撮影がされていました。



翌日は三田キャンパスに『塾員センター』・『慶應連合三田会事務局』を表敬訪問し、昼食は懐かしい『山食』に。三田の桜も満開で、週末の雨で散る運命に。昼食後は、慶應義塾歴史資料館（旧図書館）のイベント鑑賞をしました。春休み中でキャンパスは静かでのんびり散策出来ました。

(瀬戸田 記)



今年は「雨」の卒業式でした。誰しものがなにがしか苦しんで、大学生活を謳歌するなんて程遠い時間を過ごし、それでもなんとか辿り着いた「卒業」ではないでしょうか。「友人の顔も声も知らない。」なんて、我々のような通信卒業生はアルアルかもしれませんが、これまでの常識をすべて覆すような「新時代」到来を、心身ともに強烈に痛感したコロナ禍3年間でした。それでも WBC のダルビッシュ選手、大谷選手をはじめ、侍ジャパン全員の活躍は、タメ口でもリスペクトしているのがわかるという「人としての憧れ・信頼・応援とは何か」を、あらためて思い出させてくれたように思っています。また、来年度から法学部に入学予定の芦田愛菜さんが、「結果は決まっている。私たちはそこへ行く方法を考えるだけ。」と言っていたシーンを見ました。すでに異次元な世界観です。負のスパイラルに巻き込まれぬよう、経験値を糧にして、「新時代」を楽しんで欲しいと思います。



(小林 記)

〔広島慶友会〕 広島慶友会定期総会をオンラインで開催

去る 2023(令和 5)年 2 月 12 日 (日)、オンラインで広島慶友会の定期総会を開催いたしました。

広島・島根・鳥取・神奈川・茨城から、会員 11 名の出席がありました。2022 年度の活動を振り返り、2023 年度活動予定、年会費の徴収について議論しました。総会後は有志で楽しく、充実した意見交換がなされました。小規模ですが、お互いの顔が見える関係にあるとても良い慶友会です。来年度も私が会長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

コロナの影響で、2019 年から慶友会例会と講師派遣はオンライン開催のみとなりました。対面での例会と講師派遣の禁止は、発言の機会が減り、講師の先生との交流が出来ない等、もどかしさを感じていました。しかしその反面、広島慶友会に県外からオンラインでの新たな参加者があり、広島から遠方で開催される講師派遣に参加できるという嬉しい機会を得ることができました。

対面での例会・講師派遣が再開されますが、この 3 年間にオンラインで繋がった全国の仲間や慶友会との交流継続を願っています。

(広島慶友会会長 大瀧由美子 記)

2022 年度 広島慶友倶楽部総会・講演会 対面で開催

去る 2022(令和 4)年 11 月 7 日 (月)、リーガロイヤルホテル広島にて、「2022 年度 広島慶友倶楽部総会・講演会」が、3 年ぶりに対面で開催されました。直前まで、プロ野球セ・リーグの頂上決戦、日本シリーズに翻弄され、壮絶な早慶戦と続き、日程が不確実での開催決行、新学長はスピーチのみ登壇し、即とんぼ返りという強行軍でした。

さて、広島通信三田会の面々は、久々の対面にお互いの無事を確認し、懇親会においては、初めての着席フルコースに舌鼓！ さらにくじ引き大会では、カープ選手のサイン入りのバットやグローブ等が当たり、大盛り上がり！ 本当に久しぶりに楽しいひとときを過ごせました。



(小林 記)

先進7ヶ国首脳会議(G7)に期待する

大門 清 (1969年法学部卒)

「G7広島サミット」が近づいてきた。JR 広島駅や広島バスセンター等、交通ターミナルの拠点では「あと〇〇日」表示の電光掲示板が設置されている。テレビや新聞等マスコミの取り組みも次第に熱を帯び、ムードの盛り上げを図っている。日本が議長国で、岸田内閣総理大臣は広島出身、さらに被爆2世、その開催意義はすこぶる大である。

検討課題

1. 人類最初の被爆地「ヒロシマ」 ～核兵器の全廃と核兵器不使用への取り組み～
2. ロシアによる「ウクライナ戦争1年」 ～早期停戦と終結に向けて～
3. 新型コロナ発生後4年目 (2019年～2023年)
～人類のパンデミック (感染症の世界的規模での大流行) への世界各国と連携した闘いと防御策～
4. 「地球温暖化」への諸対策と取り組み、事態は深刻で一刻も早く対応開始を。

問題点

1. 「国際連合」の機能不全や役割と行使力に限界が感じられる。特に、「安全保障理事会」の大国5ヶ国が拒否権を保有しており、自国の「エゴ」丸出しで世界平和・紛争解決の「ガン」となっている。
2. 新興国家群 (BRICS=ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ) イスラム教諸国、特にアフリカ諸国は、人口急増中であり、世界人口が80億人 (令和4年11月末推定人口) を突破した現在、それら諸国の動向を無視できないし、存在感が増してところである。
3. 1975年から開催続けているG7には、役割、機能大きなものがある。弱点を克服しつつ今回の「G7広島サミット」には各段の期待を寄せている。

「G7広島サミット」への期待

1. 原水爆禁止、核兵器の全廃
 - (1) 各国首脳による「平和記念資料館」の見学実施
 - (2) 各国首脳、原爆慰霊碑への参拝と献花を行う。
 - (3) 各国首脳と被爆者との「対話集会」を開催する。
 - (4) 被爆体験継承活動の推進とPR
 - (ア) 世界平和へ被爆実態をPR
 - (イ) 被爆者の高齢化、減少による被爆体験伝承者、家族伝承者の積極的な活用
 - (ウ) 各国、国内マスコミ取材陣へのアプローチ
 - (エ) 観光来広者 (外国人、日本人) へのPR
2. 開催地～広島への期待
 - (1) 情報発信基地「ヒロシマ」、世界遺産「宮島」を始め、大変身を遂げる広島都心～原爆ドーム、「平和記念公園」周辺のサッカースタジアム建設 (2024年オープン予定) 等のPR
 - (2) 映画やアニメの舞台をPR
アカデミー賞受賞作品「ドライブマイカー」、アニメ「この世界の片隅に」、 「崖の上のポニョ」ロケ地巡りが人気
 - (3) 広島経済圏への大きな期待
 - (ア) 来広者の拡大 … 警備、マスコミ関係者が大量に来広
 - (イ) ホテル、飲食業界への爆大な効果
 - (ウ) 交通、運送業の業界への大きな効果が見込まれる。

以上

戦争の早期終結を

梶原 宏明 (2016 年文学部卒)

「歴史は繰り返さないが、韻を踏む」というのはマーク・トウェインの名言だが、現代の社会情勢を戦前になぞらえる空気も確かにある。過日の岸田首相の欧州外遊は、「日本がウクライナの戦争を協力します」というアピールだったようでもあり、平和都市、広島で開催される G7 の議長国として、日本は何を発信するつもりなのかと思う。軍拡のための増税はインフレによる経済苦もあり反対の声も多いが、一部では「中国の動きなどを警戒してやむなし」という意見も聞く。敵地攻撃を前提とするかのような閣議決定もあり、第二次安倍政権以後、なし崩しに日本が戦争をできる国へと変えられていき、専守防衛の原則は形骸化しつつある。昨今の情勢を鑑み、戦争に備えるのは仕方ないという空気も一部では醸成されているが、しかしながらそれこそが戦前の日本人の一部がある種の熱を持ち共有し、軍部を戦争に向かわせた一因であったのではないか。

いや、既にもう「第三次世界大戦は始まっている」という見方もある。エマニュエル・トッドが著書で示している見解であり、確かにそうかもしれないとも感じている。現在のウクライナとロシアの戦争は NATO 対ロシアの代理戦争と言ってもいいだろう。西側諸国が協力し、軍需物資や情報を提供し、現地のウクライナ人が戦っている、あるいは戦わされているという状況の中、さらに米・英・独からは強力な戦車も供与されることが決まったようだ。これはさながら、ウクライナが「最新兵器の見本市」とでも言うべき様相を呈しており、なぜ戦争が無くならないかということの一面を示唆しているようでもある。

このような状況下に於いて広島で開催される G7 に期待することは、戦争の早期終結に繋がる話し合いが持たれ、その宣言が採択されることに他ならない。

(2月8日執筆)

『G7広島サミット』へよせて

河村 保 (1977 年経済学部卒)

G7 の一大イベントが広島で開かれます。私の思考は何事にも疑念が多いと感じていますが、今回も懐疑的です。かつて「生活の視点を前に持つ者は、常に懐疑的だ」との随想を読んで「そうなんだ！」と自分を納得させています。

元来 G7 サミットは、「経済的な思考・実行で協力・平和な社会へ貢献」が目的だったと思いますが、変化しています。今回は特にウクライナ戦争を受け、ウクライナへの支援とロシアへの制裁がテーマにされる様子です。しかしこれでは世界平和へ貢献できません。「両国の間に立って、戦争を終わらせる」をテーマにすべきです。核兵器廃絶をテーマにすべきです。

ゼレンスキー大統領への疑念

欧米はもとより日本でも、国の最高府で饒舌に演説し、大喝采を受け、正義の英雄となりました。

しかし、私は「命を差し出して国を守れ」と国民へ命令するのは、民主主義に反すると疑念が湧きます。私は自分の命を差し出して、他人を殺す戦いが出来ません。戦争で国が守れるのか、疑問に思います。与謝野晶子の「君死にたまふことなかれ」が思い浮かびます。

戦争は双方に犠牲者の出る最悪のモノです。ロシアのプーチン大統領が最悪なのですが(原子爆弾さえ使用を示唆している)…、一方のゼレンスキー大統領には、手立ては無かったのでしょうか？「忍び難きを忍び、耐え難きを耐え、(降伏に近い譲歩もして)交渉する」ことは出来なかったのでしょうか？ウクライナ(クリミア半島やウクライナの一部)は、昔からソ連邦の中核的な国だったのでしょうか。ロシアとの絆さえあったようです。私達一般人には分からないが、ゼレンスキー大統領は2年程前から米国より軍事戦略指導を受け、情勢分析では、米国からの武器・電子情報など戦術的援護とロシアへの経済制裁で、戦えると判断したのでしょうか？

ロシアの攻撃を、欧米のマスコミは「病院・学校、住居など一般人の殺害をしている、戦争犯罪だ」と盛んに報道していますが、それが戦争です。先の米国との戦争では、日本の木造住宅を攻撃目標にして、焼夷弾を投下され焼き尽くされました。沖縄では県民も戦いに参加させられ悲惨な事態が起きました。広島・長崎には原子爆弾が投下され、何十万人もの市民が殺されました。米国は「戦争を早く終わらせるために、正しい事だった」と主張しています。2016年5月27日、オバマ大統領は、広島の原爆死没者慰霊碑を訪れ、献花し、被爆者の皆さんから感謝されました。

欧米諸国は、ウクライナへ武器弾薬を提供して「戦え」と言っています。それは正しい事でしょうか。双方が停戦をしやすくする為の方法を提供するべきでしょう。

私は非国民と言われても、武器を取って戦場には行きません。独立は武力だけでは守れない。独立は「国民の強い意識」の問題ではないでしょうか。マハトマ・ガンジーの例があります。非暴力・不服従を徹底的に実行し、インドを植民地支配から解放しました。

『when will we ever learn?』 ～いったい何時に成ったら私たちは学ぶのか？～

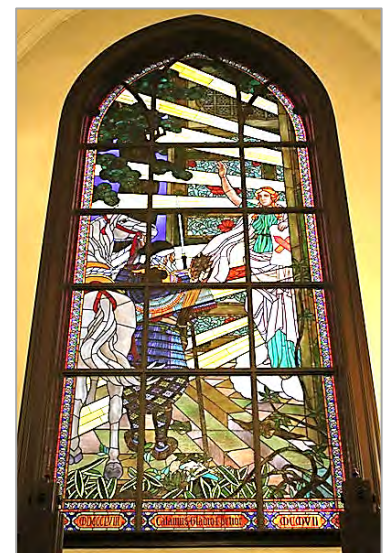
これは、『花は何処へ行った』(ベトナム戦争の頃に盛んに歌われた反戦歌)の主題です。ロシアのノーベル賞作家「ショーロホフ」が書いた長編小説「静かなるドン」の中に出てくる子守歌から、ひらめきを受け、1955年ピート・シーガー(米国)が作りました。小説は、第一次大戦・ロシア革命に翻弄された黒海沿岸のドン地方に生きたコサックの、力強くも物悲しい生き方が描かれていると言います。現存中の娘さんは、「父は、『戦争は各家庭などに深く入り込んでいる。悲惨なことだ。』と言いたかったのです。」と証言されています。不幸にも、再びコサックの大地「ウクライナ」が戦場に成っています。残念ながら、欧米はもとよりロシアでも、『花は何処へ行った』の歌が湧きおこってきません。偉大なるロシア文学は何処へ行ったのでしょうか？

文学が世界平和へ寄与すると信じてきたのですが、今回はがっかりです。「喜怒哀楽において、人間である理解が国を越え・人種の壁・主義主張を越えて融和へ繋がる」と期待して来ましたが。

私の提唱した慶応雑志会(同人誌)も、大きく言えば、お互いの人間である理解と絆が繋がれば良いと思って来ましたが、解散に成って残念です。三田の旧図書館の階段の踊り場には、大ステンドグラス『ペンをかざした女神と下馬した鎧兜の武将』があります。

「ペンは剣よりも強し」

世界で、武器は要りません。私は持ちません。無念。



先進7ヶ国首脳会議(G7)に期待する

新田 政丸 (1958年経済学部卒)

先ず現在ロシアによって侵略され、多くのウクライナ国民がロシア軍の非道な行為によって虐殺され続けている。悲惨な現状に目を向けて、ウクライナに対しての軍事・民生両面からの支援強化と継続を確認すること。更に、全世界の世論に訴える宣言を発すること。これが第一であると思う。勿論昨年2月24日のロシア軍の侵攻以来、欧州連合(EU)諸国を始め、アメリカ、日本など多くの国から支援が行なわれているが、更にこれを強化し継続することが重要だと思う。

元来ロシアという国は、1917年の共産党主義革命以前の帝政ロシア時代(1721年~1917まで存在したロシア帝国時代)から、シベリア方面で領土を拡大し、19世紀には日本近海に達した。西では、ポーランドをはじめとする地域で動きが見せられた。日清戦争後の1895年(明治28年)4月23日の下関条約締結後には、東洋艦隊に武力を背景に、所謂3国干渉にも見られるように、元来他国の土地を盗み取る国民性があるのではないかとさえ思う。更に最近では第二次大戦末期1945年8月9日、ソ連は当時まだ有効であった日ソ中立条約(1941年4月13日締結)に違反して対日参戦し、日本がポツダム宣言を受諾した後の同年8月28日から9月5日までの間に、北方4島(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)すべてを占領した。当時4島にはソ連人は1人もおらず、日本人は4島全体に約1万7千人が住んでいた。1946年(昭和21年)2月2日、ソ連は南サハリン州の設置に関するソ連連邦会議で幹部命令を発し、北方4島を一方的にソ連領に編入してしまった。(この点は、以前のクリミヤ半島や今回のウクライナ東南部4州を、無断で勝手に一方的に、ロシア領帰属宣言したのと全く同じある。)そして、1948年までにすべて日本人を強制退去させたのである。それ以降、今日に至るソ連→ロシアによる不法占拠が続いている。ソ連→ロシアと言う国はそういう国民性を持つ国であると断じて、過言ではないと思う。

加えてプーチン大統領である。昨年2月のウクライナ侵攻開始後、ロシアでは度々「ルースキー・ミール(ロシア世界)を守れ」というスローガンが叫ばれる。自分をロシア人と考え、ロシア語を話し、ロシアの伝統的価値を尊重する人々の空間が、プーチンに言わせると「ロシア世界」ということになる。またプーチンは、年末の記者会見で「ロシア世界の再統合が作戦の目的だ」と明言している。米国は、長い間準備してソ連を崩壊させたとし、「分断統治が狙いだ。やりたけなければいい。統合してロシアを強くする者は我々以外にない。今それを実行している。」と言い放った。国家保安委員会(KGB)要員として、東ドイツでベルリンの崩壊を目撃し、ソ連崩壊を「20世紀最大の地政学的悲劇」と呼ぶプーチンには、「超大国ソ連への郷愁」と「冷戦の勝者米国への反感」が人一倍強い。「連邦消滅で分断されたロシア世界再統が歴史的使命だ」との自負がにじむ。

今は亡き安倍元首相の、政策の大きな柱の1つに、「北方領土返還・日ロ平和条約の締結」を掲げ、プーチン大統領と接触。会談を歴代首相に比べ、格段の頻度で持たれていたが、結果としては北方領土の元島民らの、墓参のためのビザなし渡航を認める以外に何も残っていない。森元首相との友好関係が継続されているが、日本柔道・日本文化に魅かされているなどのリップサービスはよく聞かされる一方で、国後島には強固な軍事基地建設が進められた等、真逆の政策が着々と進められている。私がロシアのウクライナ侵攻以前から感じていたことは、亡くなられた安倍さんには失礼であるが、「日本の外交はプーチンに適当に遊ばれているのではないか?」という懸念であった。日本人は皆好人物なのだ。しかし、

今日のウクライナ侵攻のことまでは、予測できなかった。2014年のクリミア半島の一方的な併合も、詳しい事情もよく分からず、今回ほど関心を寄せていなかった。

G7は1986年（昭和61年）にスタートした。後にロシアを加えてG8となったこの組織は、当初は経済成長や為替安定などが中心に、議題として議論されていたように思う。今日ではすっかり様変わりした感がある。勿論今日の地球温暖化対策・世界経済の景気回復・インフレ対策等、共通した大きな課題も重要であるが、やはり最初に述べたウクライナ問題が、重要緊急な課題だと思う。

そしてこれはウクライナだけの問題に止まらない。現に北方四島にはロシアが着々と軍事基地建設を進め、南シナ海・東シナ海における中国の進出、更には台湾問題、北朝鮮による核、ミサイルの開発問題、我が国を取り巻く環境は、どれ一つとっても我が国の安全保障に大きな影響を及ぼすものである。21世紀に、15世紀前半頃に始まった植民地政策強行をしてはならない。ウクライナ問題は、単にヨーロッパだけの問題ではないのである。アジア太平洋地域の問題であり、我が国の安全保障にかかる案件である。ロシアは、時には「核」をちらつかせ、乍らウクライナを始め支援国に脅威を与えている。ウクライナで起きることは、インド太平洋地域でも起きる。

「G7の会議では、中ロに対抗し、法の支配に基づく国際秩序を堅持する決意を示して欲しい。」

終わりに、5月のG7会議が、世界初の被爆地広島で開催されることにご尽力いただいた岸田総理に敬意と感謝の意を表します。

先進7ヶ国首脳会議

瀬戸田 誠（1989年経済学部卒）

今年の5月は大変忙しい月になりそうです。広島市では「G7」が開催され、福山市では「ばらまつり」開催。そして、庄原市では「オープンガーデン」が開催されます。

G7のおかげで(?)、福山市のバラの開花時期を遅らせる計画で、庄原市のオープンガーデンと福山市のイベントが重なる危惧も？ 全てがG7中心で、一般市民はあまり関心無しというのが、本音でしょう。

中四国合同通信三田会や、5月27日開催予定の春期全国幹事会のほうに、関心を持ちたくなるのが通信卒塾員の大半の気持ちだと思います。しかし広島県民としては、県選出の岸田首相が主催するG7は、成功させなければならないでしょう。警備等で普段以上にチェックが厳しくなるのは仕方ないけれど、空港利用予定者には、通常よりもっと時間的余裕が必要になるので、要注意です。結論として、G7期間中の一般市民は、大人しく見守るのが最良かもしれません。

G7広島サミット 2023年5月19日(金) ~21日(日)開催

広島市内・高速道路等
首脳等の移動時間帯における
長時間・大規模な交通規制
5/18(木) → 5/22(月)
計5日間

みなさまへのお願い

- ★マイカー利用の自粛
電車の利用等 → 「渋滞で車が動かない！」
という状況に巻き込まれないためにも
通勤やプライベートで出かける際は
電車等の公共交通機関を利用
- ★業務用車両の運行調整
運行期間の変更
5/17(水) 18(木) 19(金) 20(土) 21(日) 22(月) 23(火)
サミット期間
物品の納品等はサミット開催日及びその前後
計5日間(5月18日～5月22日)以外へのシフト
運行時間の変更
運行開始の調整
が困難な場合は
時間の調整
(深夜・早朝へのシフト)
深夜・早朝への時間帯の変更
- ★行事・催事の日程変更
交通後援：広島県内の高速道路 交通費50%削減
削減目標：広島市中心部的一般道路

広島県警察 | 広島県警 サミット対策コールセンター | G7広島サミット 広島県警 (YouTube) | G7広島サミット 広島県警 (Twitter) | G7広島サミット 広島県警 (Facebook) | G7広島サミット 広島県警 (Instagram)

先進7ヶ国首脳会議(G7)に期待する

迫田 勲 (1968年法学部卒)

今年5月19日から3日間、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダ・日本の先進7ヶ国に欧州連合(EU)の首脳が広島に集まり、テーブルを囲んで国際社会が直面する課題や世界の平和・安定について議論される。世界の首脳が、その随行員・報道陣等が、広島に集う…、まさに政治のビッグショウ、世界の目が広島に注がれるでしょう。

今世界情勢は、ロシアとウクライナの長引く戦争に、アメリカと覇権主義を強める中国との対立、隣の北朝鮮の軍事力強化等、危険な方向に走っている感じがします。アメリカのハーバード大学の政治学者は、『既存の覇権国家に、振興国家の覇権争いの実に75%が戦争に至った。新興国家と覇権国家は望まなくても戦争に発展しやすい』(トウキデイネスの畏)と警告している。

米中対立の焦点になっている台湾問題に、中国は『台湾を実質的に傘下に入れ、その統治が長年の願いであり他国は干渉すべきでない』と主張、『台湾の民主主義国を守らねばならない』とするアメリカと、激しく対立している。この背景には、アメリカにとって、台湾は環太平洋エリアの日本・韓国・オーストラリアなどの数少ない民主主義国の1つであり、これを失うと、社会主義や共産主義であるロシア・中国・北朝鮮などに周囲を囲まれることになる。対中国への重要な軍事拠点である日本・韓国などと中東・東南アジアを結ぶ重要なシーレーンでもあり、ここを中国に抑えられことは絶対の阻止しなければならない、という強い意志がある。それゆえに、米中にとって台湾問題は譲れない問題、日本にとってはエネルギーや食糧等を運ぶ命綱でもある。若し米中が衝突し、台湾有事が起これば、アメリカの核の傘下にあり、基地を提供している日本が、戦争に巻き込まれることは免れない。

日本はその渦中にあり、こうした中、被爆地広島で開催されるこのG7広島サミットは大きな意味があり、核兵器のない世界の平和と安定に向けてどのような道筋をつけるのか、議長国日本のリーダーシップが問われ、その行方に注目している。広島は世界唯一の原子爆弾被爆国。サミット出席の首脳は、原爆の実相に触れ、ヒロシマの声に耳を傾け、原爆死没者慰霊碑の前で「過ちは再び繰返しませぬから」を誓って欲しいと思う。

広島は、世界は、それを期待している。



これまで日本では、東京3回、沖縄、北海道(洞爺湖)、三重県(伊勢志摩)各1回行われ、今回の広島は7回目である。広島県は「広島サミット県民会議」を結成し、警備体制・インフラ整備・おもてなし・若者参加・歓迎機運醸成・広島の魅力発信など、官民挙げて歓迎し、その成功に向けて準備・盛り上げを呼びかけている。

『国際平和文化都市広島』のPRだけではなく、観光客数の増加による宿泊・飲食・お土産などの経済効果も(伊勢志摩の5,657億円)を上回る効果が予想されている。実行性のある成果を期待する。

妄想・超弾丸広島散歩ツアー！

小林 節子（2005年経済学部卒）

いつか…近い未来に実現させるつもりで、今回は「妄想・広島弾丸ツアー！」を企画してみました。



■広島駅

某番組で礼二さん・友近さんが、カープうどんを食べました。私は早め在来線通路へ進み、ここで朝うどんをするつもり。その後、在来線改札を出て、市内電車乗り場へ。駅南側はまだ工事中。江波行きか宮島口行きの市内電車に乗車。ICカード使用可能。現金払いの場合は、降車時に¥220-を支払箱へ投入。原爆ドーム前下車。

■おりづるタワー・原爆ドーム・平和祈念資料館

市電を降り、横断歩道を安全に渡ります。まずは左手側のビルを見上げます。コロナ禍前に出来た「おりづるタワー」です。宿泊予定なら、こちらは夕食を兼ねて訪れてみたいです。

進路は右へ。左手側に「原爆ドーム」を見ながら、川沿いを歩きます。元安橋を渡って平和公園へ。「原爆の子の像」「平和の灯」そして「広島平和記念資料館(通称：資料館)」。個人的には、少し戻った場所にある「国立広島原爆死没者追悼平和祈念館(通称：祈念館)」に寄ります。入館料が必要な場合があります。色々な割引もありますので、事前確認を怠りなく。

■ひろしま世界遺産航路

元安橋のたもとから宮島へ行けます。平和公園－宮島、川を下って海を渡ります。片道約45分、料金大人¥2,200-です。潮の干満の影響が多少あるかもしれませんが、一度は是非に！

■宮島

昨年12月に、大鳥居の改装工事が終わり、ようやく本来の宮島の景観が戻ってきました。まだ工事改修中の場所もありますが、商店街やホテルも新しくなっているものが多く、「シン宮島」感満載です。

ロープウェーに乗ったり、弥山に登ったり、水族館も行かなくては！

食事はやっぱり「アナゴ」ですね。時期的に焼きガキ、揚げもみじ饅頭、外せませんね。個人的には、島外不出のもみじ饅頭(チーズ)を狙います。帰りはJRのフェリーに乗り宮島口へ。



■宮島口 etto (エット)

フェリー乗り場界限は随分様変わりしています。観光商業施設「etto (エット)」。おしゃれなカフェやレストランもあるし、宮島ならではのお土産も探せます。

■JR 宮島口駅 → 広島駅

所要時間は約30分、窓から景色を眺めます。昔、遊園地ナタリーがあった場所は、フジグランナタリー店になっています。井口高校近くに、オタフクソースのWood Egg お好み焼館を発見。地名が変わり、駅も増え、脳内迷子になりながら広島駅に到着。今回はここまで。お疲れ様でした。

G7 広島サミットに寄せて

大道 秀則（1975年法学部卒・広島慶応倶楽部）

時の流れと共に常識が変わるのも早い。多様な価値観が存在し、物事の本質が分かりにくくなっていく。ロシアのウクライナ侵攻から一年余り経過したが、今や全く出口が見えない。日々報道されているロシア軍の残虐非道な無差別攻撃で、米国はロシアの勝利を許せば国際秩序が崩壊するからと、欧州とともに経済援助や武器援助に懸命である。ロシアは、イランや北朝鮮の支援を得ながら、豊富な穀物や石油、天然ガスを武器に世界を揺さぶり、国際社会の非難をよそに、西側諸国などの経済制裁に苦しみながらも、大儀なき戦争を続けている。多くの人々は、インフレで苦しみ生活が困窮している。一部のグローバル・サウスの人々は、命の危機にも瀕している。早急な解決策が必要である。

米中の覇権争いは、この戦争に大きな陰を落としている。中国は、米国に次ぐGDPを背景に、着々と開発途上国の盟主としての地位を築き、経済的にも軍事的にも強国となり、米国に強く反発している。まさに米中の意地を賭けた代理戦争の様を呈している。米中対立は今や絶望的にさえ見える。世界中がいかにも戦争を非難し停戦を求めても、国同士の経済上の利害関係、過去の歴史的経緯、イデオロギーや宗教等の思惑が複雑に絡み、なかなか停戦には至らない。プーチンのような歪んだ欲望と偏った歴史感も持った独裁者が現れたら、戦争はいとも簡単に起こる。世界の指導者やジャーナリスト・マスコミ・言論人は為政者も見つめる目を曇らせてはならない。国民もこのような為政者を出さぬよう、政治に関心を持ち、厳しい監視の目が必要である。福沢諭吉は「学問のすすめ」の一節で、「愚民の上に苛(から)き政府あり」と、西洋の諺を紹介している。私達は、決して愚民とならないよう心すべきである。

世界は、民主主義国家とか権威主義国家とかの、単純な枠組みや価値観で対立している時ではない。どちらにせよ、距離を置くグローバル・サウスの国々等が存在し、多極化が進行している。世界には、貧困や飢餓・紛争・難民・気象変動等の難題が山積している。今こそ、世界の人々は、民族・人種・宗教・イデオロギー等の枠を超えて、一致団結しなければならない。ここに来て日本は、中国の軍事費の大幅な拡大と台湾有事の懸念、北朝鮮の度重なるミサイル発射、ロシアのウクライナ侵攻もあり、軍事費の増大を決定した。戦後の防衛戦略の基本姿勢であった「専守防衛」は、まさに空文化されようとしている。これまで政府が使用していた「適地攻撃能力」に代えて、「反撃能力」まで議論されている。これほどまでに中国から距離を置き、日米同盟に軸足を寄せたのは戦後初めてのように思う。

第二次世界大戦の反省から「国連」が設立されたが、中国やロシアの拒否権行使により、機能不全に陥っている。プーチンは核兵器の増強を決定した。この時期に被爆地広島で、G7サミットが開催されることは大変意義深いことである。自由や法の支配を普遍的価値として掲げるG7の各首脳が、「核兵器の惨禍を二度と起こしてはならない」という強いメッセージを発信することが重要である。またウクライナ戦争の停戦までの糸口を模索し、戦後復興に関する支援策が、具体的に示されることを期待する。サミットを契機に、多くの国々の首脳や報道陣・観光客が広島を訪れ、原爆の惨禍と復興を目にし、平和の尊さを実感して頂けたら、このサミットの意義は大きい。核兵器を巡る情勢は、今は厳しい。広島県民は決して核廃絶を諦めてはいない。被爆の歴史を風化させないよう語り伝え、世界に人々に連帯の輪を広げていくことが、私達に課せられた使命である。

全世界から紛争や戦争が消え、一日も早く平和が訪れることを願うばかりである。

SDGs を実践する広島路面電車

大瀧 由美子（塾生・広島慶友会長）

「侵攻 1 年見えぬ出口」 「プーチン氏 核戦力を誇示」

ロシアのウクライナ侵攻から 1 年目の新聞の見出しだ。

広島で開催される主要国首脳会議 G7 サミットでは、終わりの見えないロシア・ウクライナの 戦闘が最重要課題であることは間違いない。核兵器使用をほのめかすロシアに向けて、78 年前 悲惨な体験をした広島から発信することは大きな意義がある。

G7 サミットが開催される新緑の 5 月は、穏やかで美しい広島を見せてくれる季節である。今回 G7 サミット開催で注目される、広島の世界遺産「原爆ドーム」・「厳島神社」とともに、もう一つの広島自慢を紹介したい。

国連が 2015 年に定めた SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる、

- ・地球温暖化防止のための CO₂ 排出削減（13 番）
- ・いらなくなった製品や部品をそのままの形で“再使用”する Reuse（12 番）
- ・脆弱な立場にある人々に配慮した交通の安全性改善（11 番）

を実践する公共交通機関である、**広島路面電車**のことを世界の人々に知ってもらいたい。

日本では、昭和 30 年代の後半からモータリゼーションの時代を迎え自動車が増え、それに伴う交通渋滞とスモッグ発生など自然環境破壊が始まった。

広島市でも交通渋滞解消のため、中心部の交通手段である路面電車の軌道敷内への乗用車の乗り入れが認められた。モータリゼーションの影響で、全国の路面電車が姿を消していくなか、広島市では交通渋滞に巻き込まれた路面電車を利用しやすくするため、軌道敷内への乗用車乗り入れが再び禁止された。

現在広島を走る電車の車両の中には、

- ・昭和 20 年 8 月 6 日午前 8 時 15 分の原爆の光線を浴びた被爆車両
- ・路面電車が廃止になった大阪・京都・神戸・北九州などから購入した中古車両
- ・広島市と姉妹都市であるドイツのハノーバー市からの寄贈車
- ・西ドイツ・ドルトムント市から購入した中古電車

などがあり再利用がされている。これらの電車は再利用とは別に鉄道好きの人たちに「電車の博物館」として注目を浴びるようになった。近年は人と環境にやさしい公共交通として評価されている LRT(Light rail transit)を導入し、超低床車両で高齢化社会に対応した乗降の容易性を確保するなど、利用者への気配りを示している。

広島シンボルの一つとなった路面電車を、G7 サミットに関わる人たちに、是非体験していただきたい。世界中から観光客を呼び、悲惨な体験からよみがえった穏やかで美しい街を眺めながら、世界遺産「原爆ドーム」・「厳島神社」までを楽しく旅してもらいたい。

[会員コーナー]

ならはらひろあき

植原宏明君、作詞、作曲、歌手デビュー

先日、東京都目黒区のスタジオにて、私の新曲「カーネーション」のレコーディングが無事成功しました。この度は私が作詞とボーカルも担当しておりまして、シンガーソングライターとしてのデビュー曲にもなります。この歌の詩は私の実体験に基づいて書かれたものです。



カーネーション

(作詞/植原一二三)



曲調はブルース。

(株)インターナショナルミュージックより全国発売

発売日は6月7日 一枚1000円、カラオケも入ります。

カップリング曲は「一度きりの恋」(作詞作曲/植原一二三)のセルフカバー



[編集後記]

今現在、ロシアとウクライナで激しい戦争が行われ、台湾有事や北朝鮮のミサイル発射など、日本周辺でも戦争の火種がくすぶっています。でも日本は憲法を守り、又アメリカとの安全保障条約、いわゆる核の傘に守られ、78年間も平和が続いています。

平和は当たり前ではない、肝に銘じることが大切です。今回の特集は「G7 広島サミット」でした。ロシア、ウクライナの戦争が早く終わることや、平和な社会への思いが寄せられました。

G7 広島サミットの実のある成功を祈ります。

(迫田)

ただいま 3/27(月)未明。。。さてさて、いつ終わるんだ？今回は、、なんか可笑しくなってきた(笑)

(小林)

慶應義塾大学 広島通信三田会報 みやじま 第64号

編集 広島通信三田会 幹事(広報担当) 小林 節子

発行 広島通信三田会 会長 迫田 勲

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内1448番地

E-mail i-sakoda@h9.dion.ne.jp

発行 2023年 3月30日

会のHP <https://hiro-tu-mitakai.net>

